

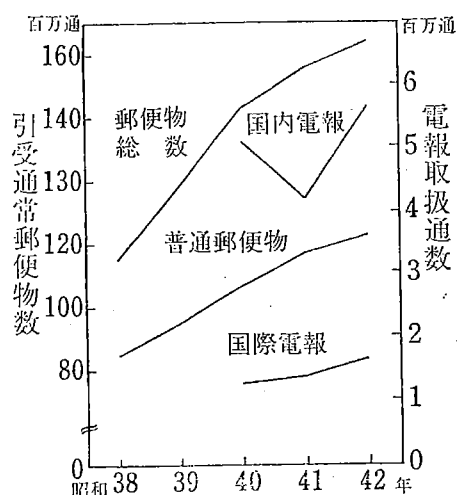
59. 郵便, 電報

人々がそれぞれの意志を適確かつ迅速に伝達する手段として、郵便、電報の持つ機能は極めて高く、その需要は社会経済の開発に比例して高くなる。

昭和42年における本県の郵便物は164百万通(対前年比+5.4%)に達し県民1人あたりでは57通の郵便利用がされている。

また電報は国内で567万通の利用があり、特に国際電報は17万通と急速に利用率が高まり、本県発展の一面を見せている。

郵便物・電報の推移



各年3月31日現在

年	郵便局				電報電話局		
	総数	普通局	特定局	簡易局	総数	直営局	委託局
昭和30年	336	13	299	24	327	17	310
35	340	16	305	19	348	18	330
40	383	22	340	21	169	25	144
41	393	22	348	23	161	24	137
42	409	23	361	25	159	34	125
43	420	25	373	22	148	28	120

年 度	引受通常郵便物数 (1 000通)					
	総数 1)	普通郵便物			特 殊 郵 便 物	小包郵便
		計	(うち) 第1種	(うち) 第2種		
昭和30年度	64 941	50 414	12 602	26 322	1 872	605
35	82 477	62 260	14 916	28 056	2 619	804
39	128 151	95 968	29 059	41 202	4 989	1 060
40	143 299	107 395	30 536	46 410	5 402	1 202
41	155 910	117 460	57 229	53 413	5 654	1 224
42	164 382	122 981	57 832	57 626	5 279	1 340

年	電報取扱通数					
	国内電報			国際電報		
	計	(うち) 発信	(うち) 着信	計	(うち) 発信	(うち) 着信
昭和30年	4 335 484	893 402	1 254 915	2 192	634	974
35	4 693 639	892 814	1 395 118	1 933	501	937
39	...	1 705 798	3 293	...
40年度	5 131 717	1 755 231	1 495 203	133 454	21 575	23 556
41	4 169 217	962 922	1 557 093	144 370	25 866	24 678
42	5 667 830	1 508 950	2 677 383	171 972	32 465	27 161

東京郵政局, 千葉電気通信部調注) 1. 1) 年賀郵便, 選挙郵便を含む。2) 昭和41年7月種類別体系の改正のため、従来の年次と接続比較はできない。
2. 電報取扱通数は41年度より電報電話局扱のみである。